



本間鋼業

本間 超氏

本間鋼業の3代目社長に就任。「自分

1月1日付で就任。「自分

経験や技術、ノウハウと

加工設備の更新や増強を

投資と多能工化などの人

社。建材輸出、三井物産

ステンレス流通加工の

面の幸福に向けて取り組

板や形鋼の在庫販売、加

入、三井物産スチール入

本間鋼業の3代目社長に

せながら、社員の物心両

工を主力とする。近年、

化し、多様な顧客のニ

1月1日付で就任。「自分

ろばん(現実)を両立さ

も行う。

るものとすることを目指

線を引き継ぎ、「経営者と

してロマン(理想)とそ

身につけられるような、

い価値を突き詰め、顧客

の子どもを当社で働かせ

たいと思えるような環境

個人と会社の成長に貢献

づくり」といった本間一

條前社長(現会長)の路

ノマイル」の2つをキ

ヤードに、DXやAIが

進展する今の時代だから

え方を連綿と受けついで

こそ、人間にしかできな

きた。このほど制定した

パープル、ミッション、

ビジョン、バリューをま

とめた「HONMAWA

新社長登場

New President

地域一番の加工ハブへ

▽本間超(ほんま・こ

の子どもを当社で働かせたいと思えるような環境づくり」といった本間一條前社長(現会長)の路線を引き継ぎ、「経営者としてロマン(理想)とそろばん(現実)を両立させながら、社員の物心両面の幸福に向けて取り組む」と抱負。「一人一人が

同社はステンレスの薄板や形鋼の在庫販売、加工を主力とする。近年、

最近では穴開けなどの人手の必要な加工を強化し、多様な顧客のニ

ズにも応えている。設備投資と多能工化などの人への投資に加え、M&Aやオープンイノベーションを視野に入れた業務提携で顧客の不便・不安・不満といった「不」を解消できる「地域ナンバー1」の加工ハブを目指す。

(北村 康平)

社長の祖父である本間

紋司氏が1952年に創

状まで仕上げ

安心して加工を任せる「板

金加工の「デッパン」とな

ること、細かな仕事や最終

製品に近い形

を任せることで、顧客が

安心して加工

して、顧客が安心して加工

されることで、細かな仕事や最終

製品に近い形

を任せることで、顧客が

安心して加工すること

で、顧客が安心して加工

すること、細かな仕事や最終

製品に近い形

を任せることで、顧客が

安心して加工すること

で、顧客が安心して加工

すること、細かな仕事や最終

製品に近い形

を任せることで、顧客が

安心して加工すること

で、顧客が安心して加工

すること、細かな仕事や最終

製品に近い形

は「事上磨練」。89年7月

は「読書と学生時代から打ち込むゴルフ。座右の銘

は「事上磨練」。89年7月